

広島市植物公園 見どころ案内

タコノアシ (タコノアシ科)

東アジアに分布し、河川の湿地に生育する多年草。花や草姿がタコの足に似ていることからこの名がついた。晩秋に紅葉する。準絶滅危惧種に指定。

ミヤマガマズミ

(レンプクソウ科)

日本各地に分布する落葉低木。6月に白い小さな花をつけ、今、光沢のある赤い果実を多数つけています。

フジバカマ (キク科)

中国原産の多年草。秋の七草の一つ。淡い赤紫色の花が咲き始めました。準絶滅危惧種。園芸店で販売されているものはほとんど雑種です。10月初めからアサギマダラ(渡り蝶)が飛来しています。

ハンギングバスケット展

～10月12日(月)
季節のうつりかわりをガーデニングの技法で美しく表現しています。テーマは「秋曆(あきごよみ)」です。[日本ハンギングバスケット協会 広島・島根合同支部共催]

ホトギス

(ユリ科)

花卉にある水玉模様が特徴です。株によって数が多い少ないがあります。模様のない白花もあります。

ベニマンサク

(マンサク科)

別名マルバノキ。紅葉が始まりました。

ダリアの世界展

～10月12日(月)
いろいろな種類の切花があり、楽しむことができます。懸崖作り、福助作りなどの展示もあります。

カリン (バラ科)

実をつけています。

三波川冬桜 (バラ科)

ヤマザクラとマメザクラの交配種。一重咲きで薄い桃色の花をつけています。

私の好きな花たちの写真展

～10月29日(木)
園内に咲く可憐な花を撮影し、展示しています。[展示資料館1階展示室にて]

ガーデニング

コンテスト作品展

～10月12日(月)
コンテナとハンギングバスケットの優秀作品を一般部門、キャリア部門ごとに展示しています。

ハンギングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットがあり、セロリア、ユーフォルビア、ストラビランテスなどを使い、秋バージョンに美しく彩りました。
[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

